

東海地区高等学校PTA連合会加盟校
PTA会長 殿
学 校 長 殿

東海地区高等学校PTA連合会
会 長 住 吉 明

令和8年度東海地区高等学校PTA連合会「愛知大会」の開催について（御案内）

このことについて、東海地区高等学校PTA活動の充実発展に努め、高等学校教育並びに社会教育・家庭教育の振興を図ることを目的として、下記により開催します。

つきましては、御多用のところ恐縮ですが、意義ある大会にするため広く御参加いただきますよう御案内申し上げます。参加の申し込みは、令和8年5月13日（水）までに各県高等学校PTA連合会事務局にお願いします。

記

- 1 主 催 東海地区高等学校PTA連合会
- 2 共 催 一般社団法人全国高等学校PTA連合会
- 3 後 援 愛知県教育委員会
- 4 日 時 令和8年6月17日（水） 午後1時から午後4時まで（受付 午後0時15分から）
- 5 会 場 刈谷市民ホール 大ホール
刈谷市若松町2丁目104番地（刈谷市総合文化センター内） 電話 0566-21-7430
- 6 次 第 (1) 開会式（13:00～13:25）
開会のことば、会長あいさつ、来賓祝辞、来賓紹介
(2) 研究協議（13:30～14:10）
愛知県立千種高等学校PTA 三重県立伊賀白鳳高等学校PTA
(3) 講 演（14:25～15:50）
演題 「「みんなの学校」が教えてくれたこと」
講師 木村 泰子 氏（大阪市立大空小学校 初代校長）
(4) 閉会式（15:55～16:00）
閉会のことば（次年度開催県：岐阜県）

【会場アクセス】

- 電車でお越しの方
JR東海道本線・名鉄三河線 刈谷駅南口よりウイングデッキ直結徒歩3分
 - 車でお越しの方
伊勢湾岸自動車道「豊明IC」より約20分。「刈谷スマートIC」及び「豊田南IC」より約25分
 - 駐車場について（詳細は刈谷市総合文化センターHPで御確認下さい <https://www.kariya-bunka.jp/access/>）
- ※ 総合文化センター駐車場は、パロー（みなくる刈谷）駐車場とは異なりますので御注意下さい。



【講師紹介】



「みんなの学校」が教えてくれたこと

きむらやすこ
木村泰子

大阪市立大空小学校 初代校長

「すべての子どもの学習権を保障する」という理念のもと、教職員や地域の人たちの協力で設立された大阪市立大空小学校の初代校長。2015年春 45年間の教職歴をもって退職。現在は、全国各地で講演活動を行う。著書『お母さんを支える言葉』、『「ほんとのこと」は、親にはいえない』など。

■経歴

大阪市出身。武庫川学院女子短期大学教育学部保健体育学科(現武庫川女子大学短期大学部健康・スポーツ学科)卒業。「みんながつくる みんなの学校」を合い言葉に、すべての子どもを多方面から見つめ、全教職員のチーム力で「すべての子どもの学習権を保障する学校をつくる」ことに情熱を注ぐ。

学校を外に開き、教職員と子どもとともに地域の人々の協力を経て学校運営にあたるほか、特別な支援を必要とされる子どもも同じ教室でともに学び、育ち合う教育を具現化した。

2015年春、45年間の教職歴をもって退職。現在は全国で講演活動などを行う。

■著書

『お母さんを支える言葉』(清流出版/2024)

『学校の未来はここから始まる』(工藤勇一氏・合田哲雄氏との共著/教育開発研究所/2021)

『「ほんとのこと」は、親にはいえない』(家の光協会/2021)

『10年後の子どもに必要な「見えない学力」の育て方』(青春出版/2020)

『「ふつうの子」なんて、どこにもいない』(家の光協会/2019)

『「みんなの学校」をつくるために』(小国喜弘氏との共著/小学館/2019)

『タテマエ抜きの教育論—教育を、現場から本気で変えよう！』(菊池省三氏との共著/小学館/2018)

『不登校ゼロ、モンスターペアレンツゼロの小学校が育てる21世紀を生きる力』(出口汪氏との共著/水王舎/2016)

■大阪市立大空小学校とは

大阪市住吉区にある公立小学校。教職員は通常のルールに沿って加配されているが、地域の住民や学生のボランティアだけでなく、保護者らの支援も積極的に受け入れた「地域に開かれた学校」として、多くの大人たちで見守れる体制を作っている。学校の理念は「すべての子どもの学習権を保障する学校をつくる」であり、不登校はゼロ。唯一のルールとして“自分がされていやなことは人にしない 言わない”という「たったひとつの約束」があり、子どもたちはこの約束を破ると“やり直す”ために、やり直しの部屋(校長室)へ。他の小学校で、厄介者扱いされた子どもも、この学校の学びのなかで、自分の居場所を見つけ、いきいきと成長。また、まわりの子どもたちも、そのような子どもたちとのかかわりを通して、大きな成長を遂げていく。学校を外に開き、教職員と子どもとともに地域の人々の協力を経て学校運営にあたるほか、特別な支援を必要とされる子どもも同じ教室でともに学び、育ち合う教育を具現化した。

2015年2月、同校のドキュメンタリー映画「みんなの学校」が全国で公開され大ヒット。大空小の子どもたちと教職員、保護者、地域の人々が学び合い、成長していく感動の軌跡をたどりながら、今の時代に求められる教育のあり方に鋭く迫る著書として注目されている。「奇跡の学校」をつくり上げてきた感動物語。